ボーリング柱状図

調　査　名	潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う地質調査等業務委託
事業・工事名	潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業

ボーリングNo　0　A

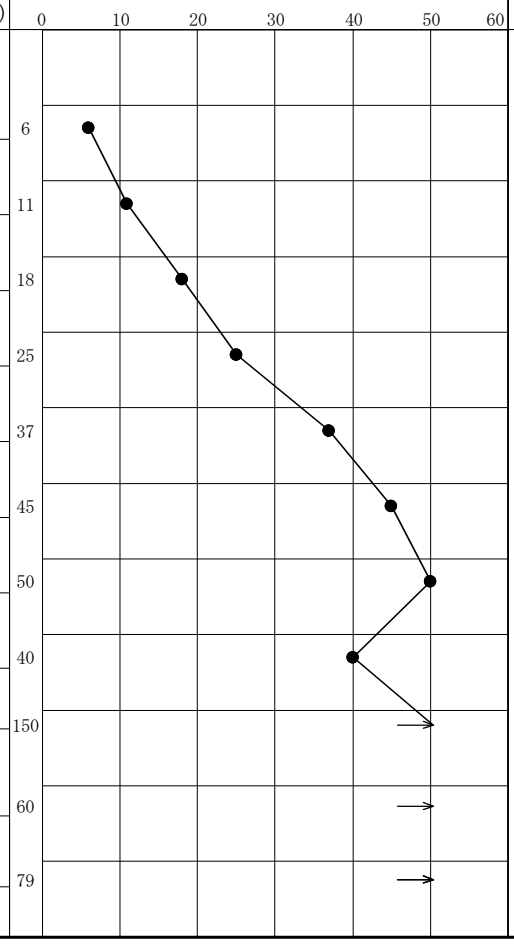
シートNo　1

ボーリング名	No.0 A	調査位置	尾道市瀬戸田町沢							北緯	34° 18’ 21.15”
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			調査期間	令和 2年 6月 2日 ～ 2年 6月 3日					東経	133° 5’ 18.17”
調査業者名	株式会社 山陽技術コンサルタント 電話（082-872-3422）	主任技師	小川充司	現場代理人	山根克臣	コア鑑定者	片桐祐次			ボーリング責任者	片桐祐次
孔口標高	H=18.86m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 17°	使用機種	試錐機	東邦D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動落下型
総掘進長	11.00m								エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ	東邦BG-3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	18.61	0.25	0.25		表土・砂質土	暗灰			有機質を呈す土砂よりなり、草根が侵入する。	
1～8					花崗岩・風化土	明褐灰～褐			岩級区分のDL～DM級に相当する、強風化花崗岩。 コアは土砂の柱状で採取され、軽い指圧にてマサ状に崩れる。 深度7.0mではDH級の密度を有する。 岩構造は一様に明瞭である。	
	9.86	8.75	9.00							
9～11					花崗岩・軟岩	褐			岩級区分のDH級に相当する、風化花崗岩。 コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。 風化により雲母は所々黄金色化しているが、鉱物間の結束は非常に密な状態にある。 岩構造は上層同様に明瞭である。	
	7.86	2.00	11.00							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	2	6／30	6
1.45～2.15	3	3	5	11／30	11
2.45～3.15	5	6	7	18／30	18
3.45～4.15	8	8	9	25／30	25
4.45～5.15	10	11	16	37／30	37
5.45～6.15	11	15	19	45／30	45
6.45～7.15	10	17	23	50／30	50
7.45～8.15	10	15	15	40／30	40
8.45～9.15	50			50／10	150
9.25～10.15	16	24	10／5	50／25	60
10.40～11.15	22	28／9		50／19	79
11.34					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				6／2
				6／3